

授業概要

本講義は、税務会計論Ⅰを履修者した者を対象として、法人税法の主要事項についての理解を更に深めることを目的とする。

そのため、課税所得の計算に関する各項目について益金算入・不算入、損金算入・不算入などの具体的な内容を修得し、法人税の課税所得計算や税額計算の仕組みを理解できるようにする。必要に応じて、その時々企業の活動や経済の問題等も取り上げる。

授業計画

第1回	税務会計の基礎
第2回	課税所得の計算
第3回	益金の会計その1－受取配当等
第4回	益金の会計その2－資産の評価益等
第5回	損金の会計その1－売上原価、繰延資産の償却
第6回	損金の会計その2－固定資産の減価償却
第7回	損金の会計その3－役員給与等
第8回	損金の会計その4－交際費等
第9回	損金の会計その5－寄附金
第10回	損金の会計その6－租税・公課・罰金等
第11回	損金の会計その7－引当金等
第12回	損金の会計その8－損失等
第13回	法人税額の計算
第14回	法人税の申告と納税
第15回	総まとめ
第16回	期末試験

到達目標

1. リーガルマインドを醸成する。
2. 企業会計と法人税法との関係を理解する。
3. 最終的には、具体的な事例に応じて法人税額の算出までできるようにする。

履修上の注意

教科書は使用しないが毎回レジュメ等を配布するので、それをファイルして毎回の授業に持参すること。また、講義の後半にその時々で話題となっている法律・会計・企業活動等に関する事柄を取り上げて授業を進めることがあるので、新聞等はできるだけ目を通しておくこと。

予習・復習

レジュメ等を配布して授業を行うので、毎授業後の復習が必須である。

評価方法

中間段階の試験（30%）、期末試験（70%）で評価する。授業への貢献により加点することがある。

テキスト

テキストは使用しない。毎回レジュメ等を作成して配布し、授業を行う。